北星学園大学 後援会だより

VOL.141
Hokusei Gakuen University
北星学園大学
北星学園大学短期大学部
発行日　2020年6月1日
発行者　北星学園大学後援会事務局
〒004-8631　札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号
電話　(011)891-2731
印刷　山藤三陽印刷株式会社

大いなる挑戦の時に

学長　大坊　郁夫

新型コロナ・ウイルス禍は、世界に遍く甚大な被害を急速に及ぼしています。今年初めには中国の局所的な流行、あるいは、横浜に係留中であったクルーズ船の乗客乗員の問題として見ていた方が多いと思いますが、今やごく身近な、かつ見えない恐怖を人々に引き起こしています。感染していても自覚症状のない場合も少なからず、やっかいです。

本学でも、卒業生の門出を一堂に会して祝うこともできず、新入生についても直接歓迎する機会を逸しました（ささやかな試みですが、大学HPにて入学式動画を用意しております）。とりわけ、新入生達（学部924名、短大部227名、3年次編入32名、大学院12名）は、大学でのオリエンテーション後は自宅待機、その後は非対面授業となり、思い描かれたであろう大学生活とは大きく違う状況に戸惑い、不安を感じているはずです。ご家族の皆様も同様と存じます。教職員もこの状況において如何にして学生の安全を確保し、かつ、学びの質を保つためにと日々奔走しております。

職員は日頃の所属部署を超えて遠隔授業の支援チームを作り、ツイッターなどを用い多様な情報発信を試みております。学習支援、心の支え、経済的な支援についても工夫をしつつありますので、後援会の皆様にも例年以上のお力添えをお願いいたします。

このような未曾有な難局においては、われわれの創造力、包容力、人間性が問われます。

「誰しも自分の知らないもの（こと）に対しては恐れを持ちやすいものです。少しでも危険であると分かると、なおさら、遠ざけたいと思うものです。自分の知識をもってしても理解できないことは目の前から消し去りたい、自分の居る世界・居場所が揺らぐことに堪えられないので、未知なるものを避け、否定し、攻撃さえするのです。」（新入生へのメッセージの一節です）こうならないで欲しいと切に念じております。

学生には、この世界的な危機を貴重な体験の機会と捉え、可能な学びを追究していただきたいと教職員一同は最大限の努力をしてまいります。

後援会の皆様のご健康をお祈りいたしますとともに、お力添えをいただけますようお願い申し上げます。

我慢から希望へ

後援会会長　深澤　秀則

大学院、大学、短期大学部に見事合格した新入生、及び編入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

1877年サラ・クララ・スミス女史によって創設された北星学園は、「世にあって星のように輝き」の建学理念のもと、133年の歴史と伝統を脈々と継承してきました。現在は、大学、大学院、短期大学部、女子中学高等学校、附属高等学校、余市高等学校を有し未来志向を目指す総合学園となっております。

1962年に開学した大学は今年58周年を迎え、更なる発展へと繋がる歩みを始めており、1951年に創立した短期大学部も現在では道内屈指の歴史と伝統、実績のある短期大学です。

例年ならば晴れの入学式では、学長はじめ来賓の方々や在学生代表から、新入生、編入生を迎えた喜びや学生生活に期待する祝辞、歓迎の詞が贈られる予定でした。しかしながら、今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、入学式を中止せざるを得ない状況となり、皆さんや保護者の方の胸中を察するに余りあります。

この後援会だよりが発行される6月は、新入生は厳しい勉強に明け暮れた受験を終え、入学した喜びと様々な制約からの解放と相まって、最高に教育設備の整ったキャンパスで、大きな希望や目標に胸をふくらませた学生生活を始めている時期です。しかし今年は、ウイルスという人類の脅威に対してあらゆる英知を集め、日本中は勿論のこと世界中が人々の往来を自粛制限し、本学でも各種行事やイベント等を中止・延期する状況が続いています。皆さんにおかれましても、今まで当たり前だった日常生活が大幅に制限され、自分の思うことができないという我慢を強いられ、予定を立てることもできない生活が続いていることでしょう。今は個々が自制して感染防止の要請を守り、大学生として自粛中でもできる取り組み（オンライン学習やソーシャルディスタンスを保った人とのつながりなど）を大切にしながら、希望を失わずに前を向いて歩んでいただきたいです。新型コロナウイルスの収束を心より願っています。

この大変な社会状況の中で、保護者の皆様には後援会にご入会いただき御礼申しあげます。後援会として、学生達に「北星学園大学に入学して良かった」と思われる教育活動援助に誠心誠意努力しますので、御支援、御協力宜しくお願い致します。

【特設ページ】新型コロナウイルス感染症に関する対応を掲載しています！

新しい情報は随時更新していきますので、学生本人はもちろんのこと、保護者の皆様もご覧ください。学内事務窓口開館状況や施設の開館状況も確認できます。

本学ホームページ
QRコード

通信環境整備等支援金の給付について

学生が遠隔授業を自宅でも受講できるよう、パソコン、インターネット環境の整備支援として、大学学部及び短期大学部に在学する学生全員を対象に**1人当たり一律50,000円を給付します**。（2020年度1年間休学する者は除く）以下の通り申請してください。

【申請期間】5月18日（月）から受付開始しています。
【申請方法】Webで行います。
5月14日付の学生への一斉メールにて「申請フォームのURL」を記載していますのでご確認ください。（メールは大学で付与したアドレス「@hokusei.ac.jp」にお送りしています）
【注意事項】・申請は学生本人が行ってください。
・給付方法は、「銀行振込」または「後期授業料からの相殺」を選択できます。「銀行振込」を選択される場合は、学生名義以外の口座は登録できません。
・申請後に申請内容の変更は出来ません。申請は1人1回限りです。
【問合せ先】財務課　メールアドレス：tuition@hokusei.ac.jp
※申請に係る不明な点は**電話ではなく原則メールでお問い合わせください。**
※学籍番号と名前を必ず記載してください。
※メールタイトルを「通信環境整備等支援金申請の件」としてください。
※問い合わせの内容によっては、本学ホームページの「よくある質問」の中で回答しているものもありますので、ご確認ください。

新入生からの言葉　大学生活にむけて

文学部　英文学科
安宅（あたか）　花（はな）さん

今年度は新型コロナウイルスにより入学式がなく、大学生になったという実感がまだ湧いていませんが、大学生になり約２週間が経とうとしています。まだ授業も始まっていませんが何度かオリエンテーションなどのため登校し、大学での４年間を有意義に過ごしていきたいと感じています。

中学生の頃に出会った恩師のような教師になりたいと思い、漠然と北星学園大学の英文学科に入学したいと思ってから４年が経ち、今こうして英文学科の学生となることができてとても嬉しく思います。これから始まる４年間の大学生活の中で、中学生から変わらずに持ち続けてきた英語教師になるという夢の実現に向けて、何事にも一生懸命取り組んでいきたいです。今までは夢は持っていたもののそのために何かしているという訳ではなく、ただただ英語が好きで勉強しているだけでした。しかしこれからは、より専門的な英語の授業を受け、教職課程を通して教育学や教師になるために大切なことや必要なこともたくさん学ぶことができます。自分自身を成長させられるように新しいことを学びながら、１日１日を過ごしたいと思います。

いつもとは違い遠隔授業でのスタートとなりますが、これから始まる北星学園大学での４年間を通して、夢を実現するため、自立した社会人になれるよう成長していきたいです。

経済学部　経済学科
佐久間（さくま）　春風（はるか）さん

今年は新型コロナウイルスの影響で入学式やガイダンス等が中止になったり授業開始が遅れたりと、新入生にとっては不安な日々が続いています。特に履修登録は分からないことが多くとても困りました。高校までとは違い、自分のことは全部自分で決めなくてはいけない環境に自由を感じる一方、大きな責任も感じます。ですが、そんな不安を抱える私たちのために、先輩方がインターネットを通じて丁寧に分かりやすく質問に答えてくださり、本当に助かりました。今年度は、このような大変な状況にも臨機応変に対応していきたいです。また、楽しみにしていることもたくさんあり、その１つがサークルです。オリエンテーションで配布された資料やホームページなどで楽しそうに活動する様子を見て、自分も早く入りたいなと思いました。また、大学では新しいことも始めたいので、周りの友達や先輩と相談しながら決めていきたいです。そして早く大学に慣れて有意義な学生生活を送りたいです。毎日流れてくるニュースを聞くとまだまだ心配事は尽きませんし、これからも情勢は変わっていくと思いますが、まずは１年、自分ができることを精一杯取り組んでいきたいです。

社会福祉学部　福祉臨床学科１年
村本（むらもと）　才人（さいと）さん

入学して約１週間が経ちました。いよいよ本格的に授業が始まろうとしています。初めのオリエンテーションでは、履修登録の仕組みを理解することや時間割の組み方に不安を感じましたが、友人や親切にしてくださる先輩方、わからないことを丁寧に説明してくださる先生方のおかげで、安心して学生生活をスタートすることができそうです。高校とは違って好きな授業を受けたり、取らなければいけない授業を見極めたりと、今まで出来なかった「自分で選択する」ということに喜びや新鮮さを感じます。また同時に、一つ一つの行動に責任を持たなければならないと強く思いました。

私は将来、福祉関係の職に就きたいと考えています。大学では高校の時のようにすべてが決められている訳ではありません。だからこそ、自分を律し、目標を見失わずに勉学に励みたいと思います。勉学が大事なのは当たり前ですが、大学生として楽しみながら学生生活を送ることも大切だと考えています。私は現時点で希望する部活やサークルはありませんが、どこかには入ろうと思っています。友達や先輩方との輪を広げていくことで、より楽しく豊かな大学生活が送れるのだと思います。

１日１日を無駄にせず、将来を見据えて、充実した４年間を過ごしていきたいです。

短期大学部　生活創造学科
瀬能（せのう）　優花（ゆうか）さん

入学から約２週間経ちましたが、入学式やイベントの中止、授業開始の遅れなどにより学校の雰囲気も掴めず、まだ不安を感じています。ですが、この授業開始前に空いた長期の時間に学生生活の準備を万全にして、授業に挑もうと思っています。

これから始まる大人数の授業や時間割の複雑さ、履修登録をする科目の選択など、高校とは全く違うのでわからないことも多いですが、そのままにせず不安に思うことは先輩や先生方に相談して解消していきたいです。一方で、自分の受けたい科目を中心に自由に時間割を決められるので、意欲的に学生生活に励むことができますが、自分で決断し、責任を負うことが多くなると思います。ですので、レポートの締め切りや単位取得などやるべきことをするのと同時に、勉強以外にもやりたいと思うことには、苦手だとしてもしっかりと挑戦し、自分の経験値を増やして将来に役立てるようにしていきたいです。

今までは苦手なことや大変なことを避けてきましたが、この短い２年間を将来や今後の社会で活かせる有意義なものにするために、密度の濃い日々を過ごしていきたいです。

組織紹介

学長　大坊郁夫
副学長　鈴木剛
スミス・ミッションセンター部長　日髙嘉彦
学生部長　中村和彦
文学部長
文学研究科長
図書館長　柳町智治
経済学部長
経済学研究科長　秋森弘
社会福祉学部長
社会福祉学研究科長　田実潔
短期大学部長　藤原里佐

学科長

英文学科長　高野昭司
心理・応用コミュニケーション学科長　大島寿美子
経済学科長　勝村務
経営情報学科長　林秀彦
経済法学科長　伊東尚美
福祉計画学科長　佐橋克彦
福祉臨床学科長　永井順子
福祉心理学科長　鴨澤あかね
短期大学部英文学科長　森越京子
短期大学部生活創造学科長　遠藤太郎

センター長

入学試験センター長　岩本一郎
キャリアデザインセンター長　岡田直人
国際教育センター長　ピーター・グレイ
学生相談センター長　牧田浩一
学習サポートセンター長　栗林克匡
総合研究センター長　秋森弘
総合情報センター長　佐藤友暁
社会連携センター長　石川悟
心理臨床センター長　田澤安弘
広報委員長　西田充潔
アクセシビリティ支援室長　鈴木克典

事務局

事務局長　桑原大幸
事務局次長　山本一博
大学事務部長　笠松英雄
法人課長　越江真理
IR広報戦略室長　越田実
総務人事課長　今康昭
財務課長　髙橋章
教育支援課　第一課長　佐々木薫
教育支援課　第二課長　桐山城太郎
教育支援課　第三課長　川島善孝
学生生活支援課長　遠藤潤
国際教育課長　髙橋麻里子
就職支援課長　前村俊一郎
社会連携課長　鈴木峰子
研究支援課長　山田充雄
情報システム課長　高野正明
司書課長　川原靖彦
入試課長　鈴木克知

学術出版の紹介

『スクールソーシャルワークにおけるスーパービジョン実践モデルの生成：参加型評価を活用したエンパワメントに着目して』

社会福祉学部福祉臨床学科　**大友　秀治**　准教授

このたび大学後援会より2019年度学術出版補助をいただき、博士論文での成果を公表することができました。出版に携わった関係者の皆さまに深く感謝申し上げます。スクールカウンセラーが、学校や世間から一定の評価を受けるなか、スクールソーシャルワーカーはまだまだ認知されていないのが現状です。スクールソーシャルワーカーは、子どもの生活の質や権利が保障されるよう、福祉の視点から子どもを取り巻く環境（学校や家庭など）に働きかける専門職です。日本で全国的に展開されて10年を越えますが、その成果とともにさまざまな課題も指摘されています。

そのなかの一つに、スクールソーシャルワーカーがよって立つ基盤が確立されていないという課題があります。例えば、非正規雇用が大半を占め、人材確保が困難となっています。また、教育的な価値観が浸透した学校現場のなかで、福祉的価値を持つスクールソーシャルワーカーの実践が理解されにくく、協働が進まないという状況も珍しくありません。

そこで、本書では、このような現状を関係者が共有し、評価し、つくり変えていく参加型評価という手法に着目し、実践的基盤を整えるためのモデルを提案しました。現場で活用できる指針も盛り込んでいる本書が、今後のスクールソーシャルワーク実践の進展に寄与できれば幸いです。

『高齢期における社会的ネットワーク：ソーシャル・サポートと社会的孤立の構造と変動』

社会福祉学部福祉計画学科　**中田　知生**　准教授

このたび、初めての単著を上梓しました。内容は高齢者における社会関係についてのものです。社会関係というと、とっつきにくいかも知れません。しかし、さまざまな支援やサポートは、人間と人間との関係、いわゆるネットワークを通じて供給されます。また、近年話題となっている社会的孤立は、他者との関係がない状態をいいます。したがって、過去も、現在も、そして、これからもこの社会関係は非常に重要です。特に、本書で表したかったのは、「ある人が年齢を経るにつれてその人の社会関係にどのような変化が起こるのか」というところでした。そこで、あるところからお借りした多くの人々を追跡したデータを主に分析しています。日本は介護の社会化を目指して、2000年に介護保険を作りました。しかし、実際にはまだまだ子どもによる親のサポートが増えていくという様相も見受けられました。

本書の出版にあたり、後援会からは多分な助成をいただきました。このような助成は研究の大きなモチベーションとなり、そして、今回、広く私の研究を知らしめる機会を得ることができました。心より感謝申し上げます。

◆ご相談ください◆

～学費納入について～

授業料等学費につきましては、毎年、期限までの納入をお願いしているところですが、学費に関する諸制度についてお知らせいたします。

詳細は今年度のキャンパスガイド46～48頁（学生への配付冊子）、及びキャンパスガイドWEB（http://cgw.hokusei.ac.jp/）→「奨学金・学費・実習費」→「学費とQ&A」「奨学金」をご参照ください。

■各種減免制度

【本学独自の減免制度】

○兄弟姉妹等同時在学減免

兄弟・姉妹等で同時に2名以上が1年を通じて在学されている場合、そのうちお一人以外の方の「教育充実費」及び「後援会費」を全額免除いたします。願い出にあたっては、戸籍謄本の添付をお願いしております。**財務課まで**お申し出ください。

○身体・精神障害者減免

学部、大学院又は短期大学部の学生で身体障害者手帳もしくは精神障害者手帳をお持ちの場合は「教育充実費」の2分の1を免除いたします。**財務課まで**お申し出ください。

【国の減免制度】

○高等教育の修学支援制度（給付奨学金・授業料減免）

日本学生支援機構の給付奨学金に採用された場合、大学で所定の手続きをすることにより授業料等の減免も併わせて受けることができます。給付奨学金の申し込みについては、学生生活支援課までお問い合わせください。

■学費延納制度

万が一、家計の事情等で期限までの納入が困難な場合は、学費等延納制度により納入期限を延長することが可能です。**財務課まで**ご相談ください。

後援会からのプレゼント

後援会では毎年、卒業生と新入生の皆さんに記念品を贈呈しております。2019年度卒業生には『卒業記念PHOTOBOOK』を贈りました。ゼミやクラス、サークル集合写真を中心に掲載し、卒業後も母校での思い出を振り返ることのできる1冊となっています。

また、2020年度新入生には『コットントートバッグ、ステンレスマグボトル、USBメモリー』の3点を贈りました。いずれも本学の校章ロゴがデザインされたオリジナル製品です。

本学の校章は1991年に北星学園大学開学30周年を記念して作製されました。校章の形はライラックの花びらを表現しており、5つの花びらは、本学の教育方針である、人間性・社会性・国際性・そして希望と発展を意味しています。校章に込められた意味をご理解いただき、大学生活の中でもぜひご活用ください。

後援会とは？

北星学園大学後援会は、在学生のご父母、卒業生のご父母及び同窓生を会員として構成されており、今年で設立36年目になります。

本会の目的は、北星学園大学・短期大学部における教育、研究活動の充実と発展に寄与することであり、「北星学園大学・短期大学部のサポーター」として活動を行っています。一例としては、図書館への図書等の寄贈、教員への学術出版補助、全国学会や学部・学科等で主催する事業への補助、国際交流経費補助などです。学生各種活動補助については、全国大会に出場する学生への補助や学生の就職活動支援、就職セミナー開催、大学祭への援助、奨学金補助、サークル活動で使う備品等の購入などを行っています。

また、毎年地区別父母懇談会を道内７会場（札幌・函館・苫小牧・北見・旭川・帯広・釧路）で開催し、本学の教育方針やカリキュラムの説明、学生の修学状況についての個別面談を行い、ご父母の皆様に本学について知っていただく良い機会となっています。

ただし、今年度の地区別父母懇談会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止または開催未定となっております。詳細は４ページをご覧ください。

なお、『後援会だより』は例年４回発行し、会員の皆様に大学の情報をお届けしております。後援会に関することは大学ホームページからもご覧いただけます。

後援会からの寄贈図書（本学図書館内）

2020年度　大学生活がスタートしました！

～新型コロナウイルス拡大防止に向けて様々な取り組みを行っています～

新型コロナウイルス感染症の世界的拡大により、4月2日（木）の入学式は中止とし、オリエンテーションや前期授業開始も延期となりましたが、５月からオンライン授業を中心とした新年度が本格的に始まりました。このような状況下で保護者の皆様も大変ご心配のことと思いますが、学生の皆さんが安心して大学生活を送れるよう、本学では様々な感染防止対策や支援を実施しています。

１日でも早く新型コロナウイルス感染症が収束し、キャンパスに学生たちのにぎやかな声が戻ることを心から願っています。

キャンパス出入口：消毒液や臨時の手洗い場を設置し衛生管理の徹底を図っています。

4月のオリエンテーションでは、学生同士が密にならないように間隔を空けて座ってもらいました。

教育支援課：飛沫感染予防のため、窓口にビニールシートを付けています。

対面授業が可能になった際にも安全に大学生活が送れるように教室周辺にも消毒液を設置しています。

大学生協の食堂：間隔を空けて席に座るようにテーブルやいすにサインを設置しました。

5月11日からオンライン授業がスタートしました。大学内のCALL教室で授業を受ける学生の姿もありました。

研究室からオンラインで授業配信。約70名の学生が出席しました。

短大部のアセンブリの授業。複数の教員が協力し、大学の教室から配信しました。

総会懇親会・地区別父母懇談会の開催中止等のお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度の後援会行事は残念ながら中止または開催未定となっております。ご予定していた保護者の皆様には大変申し訳ございませんがご理解くださいますようお願い申し上げます。

11月の札幌地区父母懇談会については、今後の状況変化や関係機関の動向を踏まえたうえで、あらためて判断いたします。ホームページ等でご案内しますので、近くなりましたらご確認ください。

なお、総会資料については、後日、ホームページ等で公開し、皆様からの承認をいただく予定です。その際、ご意見等も承ります。

【総会・懇親会】５月30日（土）　中止

【地区別父母懇談会】

中止	７月４日（土）	札幌会場（北星学園大学内）
中止	８月22日（土）	北見会場
中止	８月23日（日）	旭川会場
中止	８月29日（土）	釧路会場

中止	８月30日（日）	帯広会場
中止	９月５日（土）	函館会場
中止	９月６日（日）	苫小牧会場
開催検討中	11月７日（土）	札幌会場（北星学園大学内）

北星学園大学サポーターズ寄付金ご芳名

募金のご協力に深く感謝申し上げます。

寄付　2019年4月1日から2020年3月31日まで（敬称略）　※3月にクレジット決済にてご寄付をいただいた場合は、次号でのご紹介となります。

☆大学・短期大学部（在学生父母・同窓生・教職員（旧教職員含む）・理事）

塩崎　和憲	坂本　裕之	山角　哲紀	小森　利通	植野　晃壽	成田　憲一	大村　和弘
大畑　揮義	大平　学	池田　淳志	渡辺　誠二	福原　浩美	毛利　吉雄	岡田　義明
山崎　孝博	小村　知江子	森田　佳代子	中村　誠	髙橋　洋美	内山　忍	大坊　郁夫
上口　晃	河野　和枝	谷　さつき	笠松　英雄	大山　綱夫	酒井　玲子	樋田　繁治郎

匿名希望16名

あとがき

6月はキャンパス内にライラックの花が色鮮やかに咲く時期です。自然豊かなこの大谷地キャンパスで、学生たちが安心して学習や活動を再開できるよう心よりお祈りしています。

西藤・室山